

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 27 日

評価対象事業		評価者	地域共生課担当課長 矢作 拓	
共生-17	広聴事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	地域共生課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	地域のつながり課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民
意図	市民ニーズを把握し、今後の行政計画に反映させるとともに、市政全般について理解を深めてもらうため。
効果	市民と行政の相互理解を深め、円滑な市政運営に資する。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

- 市民活動グループと市長との懇談を通し、市と市民活動グループとの協働や関わり方について相互理解を深める事を目的として、市長カフェを開催した。
- 将来の鎌倉を担う若い世代の声を聴くため、「若者から意見を聴く」を開催した。
- インターネット環境等アンケート事業を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)		
01	インターネット環境等アンケート事業	LINEを通じたアンケート	なし	- / 0	- / 0		—
02	市長との懇談	市長カフェ及び「若者から意見を聴く」を開催	なし	/ 0	/ 15	85	—
03	一般事務経費	広聴事業に係る消耗品の購入	なし	/ 3	/ 3	3	—
04				/ /	/ /		
05				/ /	/ /		
06				/ /	/ /		
07				/ /	/ /		
08				/ /	/ /		
09				/ /	/ /		
10				/ /	/ /		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	/	/		
			一般財源	3 /	18	88	
			事業費の合計(千円)	3 /	18	88	
		人件費(千円)		5,852	6,917		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	0.6	0.9			
会計年度任用職員	0	1.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	インターネット環境等アンケート事業	指標なし 理由: LINEを活用したアンケートを行い、一定の市民ニーズの把握や傾向をつかむことはできるが、市政への理解を深めることまではできないため。	アンケートを実施する希望課において、一定の市民ニーズの把握や傾向をつかむ手法として実施することで寄与している。	・LINEアンケートをさらに使いやすくするため、アンケートの構成について現在研究・検討を重ねている。 ・LINEアンケートのガイドラインや運用基準等の整理が必要。
02	市長との懇談	指標なし 理由: 意見を聴くにあたり、参加者数などを一概に指標化することはなじまないため。	各種団体及び若年層から市政に関する意見を聴くことにより、様々なニーズを把握することに寄与した。	意見聴取後に、意見を市政へ反映する仕組みづくりが課題となる。
03	一般事務経費	消耗品の購入経費のため、成果目標は設定しない。	事務環境の整備に必要不可欠である。	なし
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>①多世代からの意見の聴取を目指し、「わたしの提案(こども版)」のPRや次世代を担う若者世代(Z世代)への事業展開を図り、オンラインを活用した対話、ふらっとカフェによる市民対話等の実施によって、「施策の種」を収集及び関係課へ繋いでいく。</p> <p>②LINEアンケートについて令和3年度から稼働したが、LINEアンケートの運用基準についても併せて検討を進め、市民ニーズを把握する一つのスキームとして活用できるよう整備を行う。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	<p>広聴事業は各自治体独自の手法で事業を実施しており、相談体制や対応範囲も均一ではないため、単純に数値を用いて比較することができない。</p>
--------------------------	--